

会報神奈川

令和5年5月30日発行

発行責任者 神奈川県神道青年会会長 守屋隆広
〒210-0846 川崎市川崎区小田2-14-17 電話 (044) 333-1046

会長退任挨拶



神奈川県神道青年会
第二十八代会長

守屋 隆広

先ず以て、謹んで聖寿の万歳と皇室の弥栄をお慶び申し上げます。神宮に於かれましては、諸祭恙無く斎行されておられますこと、慶賀に存じ上げます。

さて、令和三年度四年度当会会長を仰せつかつてより二年の歳月が経過致しました。当初、世界的に蔓延していた新型コロナウイルス感染症の影響を受け、今までとは違った形で会務運営を迫られる中、一歩また一歩と苦しいながらもお預かりした神奈川県神道青年会七十年の歴史を止めることなく前に進めることが出来たと思っております。

これも偏に神奈川県神社庁様、県内宮司様、先輩諸賢の皆様、関係団体の皆様、何より共に歩んでいただいた会員の皆様のお蔭と衷心より厚く御礼申し上げます。誠にありがとうございました。

令和三年度には、「創造と実行」をお願いし、会員各位がそれぞれ主体性を持って行動することで世情の変化に対応しつつ、出来る時に出来る事との臨機応変な状況にもしっかりと取組み、オンライン

形式の研修や天皇陛下御即位奉祝パネル展などを実施することが出来ました。

令和四年度には、「各部の垣根を越えての研修会実施」をお願いし、今まで研修会を実施していなかった各部においても研修会を催していただき、会員のみでなく県内宮司様総代様までご出席いただいた有意義な研修会を数多く実施することができました。

悔いが残るとすれば、疫病の影響を受けて実行委員長を務めておりました当会創立七〇周年記念事業の多くが中止となった事、また、拝顔して宮司様はじめ先輩諸賢へのご挨拶が叶わなかったこと、そして親睦を深める時間がなかなか取れず、会員の皆様と触れ合う機会が少なかったことが挙げられます。

今後はこの苦しかった経験を糧とし、斯界発展の為に力を尽くして参ります。皆様には今後も変わらずご指導ご鞭撻のほどお願い申し上げます。

この会報が発刊される五月には、日常生活も疫病蔓延前の状況に近づきつつあることと拝察します。志村新会長はじめ役員、会員の皆様には、青年神職と呼ばれる限られた期間を大切に過ごして戴くと共に、行動が起こせることの有難さを感じつつ、邁進していただきたく存じます。

結びに、神奈川県神道青年会の益々の発展と会員各位のご活躍を祈念申し上げ、会長退任にあたっての御礼のご挨拶とさせていただきます。



神奈川県神道青年会



<http://www.k-jinja.jp/seinenkai/>

会長就任挨拶

神奈川県神道青年会
第二十九代会長 志村 幸弥



謹んで聖寿の万歳と皇室の弥栄をお慶び申し上げます。また、神

宮に於かれましても諸祭恙無く肅行されておりますこと慶賀に存じます。

さて、昨年十一月十八日に開催された臨時総会に於いて、令和五年度・令和六年度の会長職の大役を仰せつかる事となりました。先輩諸賢が築き上げて来られた歴史と伝統を次代へ繋ぐべく、尽力して参ります。力不足は痛感しておりますが、新役員一丸となり、斯界の発展のため、鋭意努力して参ります。先輩諸賢にはご指導・ご鞭撻を、また会員各位には一層のご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。さて、令和二年より続いたコロナ禍も、本年五月八日を以て感染症法上に於ける五類へと移行し、ようやく感染状況に左右される事無く活動を行える状況となりました。今こそ蓄えてきた力を発揮する時です。

このような好機を迎えた本年、当県において神青協一都七県協議会の定例総会、神職野球大会の主管を務めます。コロナ禍後、初となる宿泊を含めた通常での開催となります。山本喜道実行

委員長を中心に会員一同一致団結し、恙無く運営できるよう努めて参ります。多くのご来賓のご臨席を賜りますようお願い申し上げます。

そして守屋前会長長期より続けて参りました、県内の慰霊碑忠魂碑の調査について、いよいよ本格的に現地調査を行う準備が整いました。ご存知の通り、神奈川県は護国神社の無い唯一の都道府県であります。この事業を通じ、祖国の為と散っていった英霊への慰霊と顕彰の誠を捧げると共に、改めて平和について考える機会とすべく尽力して参ります。

また本年は関東大震災発災より百年という節目の年を迎えます。近い将来、必ず起こると言われている首都直下型地震や南海トラフ地震、昨今の豪雨・台風による災害など、自然災害に対する備えや防災意識の涵養は急務であると言えます。過去の災害に目を向けると共に、防災・減災への知識を蓄え、防災備蓄の見直し等災害対策の強化に努めて参りたく存じます。

本年度は、新しい体制となった青年会の始まりの年となります。一昨年度より組織調整委員会を立ち上げ、委員を中心に議論を重ね、昨年の臨時総会に於いてIT事業推進部と広報部の統合、事業部の廃止、それに伴う会則の変更が承認されました。昨今の会員数の減少等を鑑みての変更でありましたが、青年会の本質は変わりません。教養と親睦、二つの柱を、殊に本年は新型

コロナウイルスの蔓延下には行う事が困難であった親睦事業を中心に、会員同士の絆を深めて参りたいと思います。行動の制限等はありませんでしたが、新型コロナウイルスが消滅した訳ではありません。個人々々での感染予防はしっかりと行いつつ、様々な事業を企画し、活発な活動を展開して参りたいと存じます。各神社の御社頭も賑やかさが戻り、本年より例祭等も通常通りの肅行を目論んでいる事と拝察いたします。忽々たる状況とは存じますが、県内宮司様、先輩諸賢におかれましては青年会活動へなお一層のご理解を頂き、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。就任のご挨拶とさせていただきます。

御装束・御簾・神輿
神祭具調度
宮内庁御用達・京都百年老舗

竹重 株式会社

〒600-8324 京都市下京区西洞院花屋町上る東側町510
☎075-371-0394 FAX075-341-6966
フリーダイヤル 0120-37-0394

御社頭授与品
御参拝記念品
立案調製

〈営業品目〉 ●交通安全御守護
●開運招福鈴
●文鎮 金盃
●各種記念品類
●胸像・レリーフ・鋳造類

鈴木徽章工芸株式会社

〒113-0032 東京都文京区弥生2-12-1
TEL 03-3814-1811 FAX 03-3818-8332
E-mail: info@suzuki-kisho.co.jp
http://www.suzuki-kisho.co.jp

神奈川県神社庁御用達

株式会社 クレックス

代表取締役 近藤 榮人

〒194-0014 東京都町田市高ヶ坂六-18-1 ○番地
電話 04-2728-1894 一代
FAX 04-2723-3563

シリーズ 言霊

新神国論

瀬戸神社 宮司 佐野 和史



昭和の五十年代から令和の初め頃まで神社本庁に勤

務し、教学・教化の分野の仕事をしていただき、國學院大學では講師として神社神道概論や神道教化を担当させていただいた。その間の仕事の成果は恥ずかしいばかりで、評価できる部分は乏しいばかりである。

しかし、この仕事を通して常に考へてきたことは、神社ないし神道とは何かであり、神職の勤めの真の目的はどこにあるかであったと思う。その結論は単純に一言で表されるものではないし、紙面も



限られるなかで詳述もできないが、昨今、頭の中で煮え掛かってゐるのは、「新神国論」をいかに表現してゆくかといふことである。「シン・ゴジラ」を始めとして、「シン・○○○」といふ映画などが連続して公開されてゐるのを真似てみた表現ともなるが、埃のかぶったような「神国論」ではなく、グローバル化の叫ばれる現代（さらにはこれからの時代）に照準を合はせた「神国日本」の姿を、若い人々に如何に提示してゆくかが現在の大きな課題だと考へる。

「公的」といっても、現憲法や法律・行政の制度での公的性格ではない。古来からの日本人の世間の枠組みでの公的なものであらう。その淵源は天安河原の神集へにあるともいへる。このこ

とを如何に表現するかが現代教化の課題であらう。神職身分でなぜ色の異なる装束を身に着けるのか？神社本庁の制度だからではない。神国日本の伝統として、天皇の下での公的祭祀であることが原点である。本庁規定はこの原点に準拠して成文化したものに過ぎない。

神宮大麻を各家庭で祀るのはなぜか。神宮が総氏神様だからといった説明がなされるが、これで学理的に理解できるか。神宮はかつて私幣禁断とされたごとく、基本的に陛下が祭祀される神宮である。神宮の祭祀には陛下の祈りが凝縮されてゐる。この陛下の「大きないのり」を我が家の神棚に、氏神様とともに祀る時、我々の「小さないのり」が陛下の祈り的一部となつて「大きないのり」につながつてゆく。ここに「神宮大麻」を祀る本質があると考へられるし、この「いのり」の広い共有が「神国日本」を支へてゐるはずだ。

神社（神社庁・神社本庁）が宗教法人であるのは、それが宗教だからではなく、神国日本の伝統を護持するための不可欠にして合法的な方便だからである。神国日本をわすれて包括法人の権威を主張するなど烏滸の沙汰である。

皇位の安定など重要課題のなかで、神道教学は現代の北畠親房的な論究を試みなくてはなるまい。

限られた紙面で意を尽くさぬが、昨今の所感を述べさせていただいた。

ご社名入り承ります。

来福お守り

全8色

1体 583円(税込)

株式会社 民俗工芸

〒857-1162 長崎県佐世保市御本町18-1
TEL0956-34-5500 FAX0956-34-5511

神祭具 授与品 記念品 奉製

株式会社 神路社

本社
〒516-8611 三重県伊勢市岩瀬2丁目5番29号(私書箱第26号)
電話番号 0596-24-5858 / FAX 0596-24-5110
E-mail info@kamijisya.co.jp

神苑(東日本営業所)
〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿1丁目26番14号 ACTビル4階
電話番号 03-3280-6720 / FAX 03-3280-6721
E-mail info-tokyo@kamijisya.co.jp
http://www.kamijisya.co.jp

活動報告

祭式衣紋研修会

教養部 副部長 長坂倫旦

令和四年九月三十日、当会として約五年ぶりとなる祭式衣紋研修会を神奈川県神社庁において開催しました。

講師には神奈川県神社庁祭式講師をお務めの笠原稲荷神社宮司小野和伸先生をお招きし、未だ疫病禍中ということでマスク着用の上、研修会を行いました。

午前は、日々の奉仕の際、独自の形や略儀になり易い祭式の基本動作を確認し、姿勢から歩法まで正しい作法の習得に努めました。また、有職故実について

もご説明頂き、改めてその意味を確認しました。



午後は、衣紋の実技研修を行いました。先ず、衣紋の故実を確認し、後に三人一組となり、基本となる衣紋者二人で着付ける場合からご説明頂きました。その後、自身ひとり着付ける一人衣

紋の練習も行いました。先生に要点をご説明頂きながら行いましたが、不慣れな点も多く、受講者は四苦八苦しておりました。

着装後は完成した形を見せ合いお互いに指摘することで、自身の改善すべき点を確認し、日々積み重ねて練習することの大切さを痛感しました。

小野先生には細かな要点等を大変詳しくご講義頂き、とても有意義な研修会となりました。

オンライン研修会

渉外部 副部長 関根喜彦

十月七日、十二日、渉外部の取り組みとしては初となる研修会をオンラインにて開催致しました。

十月七日に行われた第一講では、福島県鎮座白根神社宮司の古積義永先生より暦・易学について御講義いただきました。

日常的に暦に触れる機会は少なくありません。しかしながら暦の内容を学んだ事は過去にはありませんでした。本研修会を通じて通甲盤の見方から、九気性の意味、干支や日柄について、暦の基礎知識を学ばせていただきました。

また、十月十二日に行われた第二講では、一般社団法人ローカルイノベーション代表理事の沼田宏之先生よりSDGsについて御講義をいただきました。

昨今、耳にしない日が無いほどに世間に浸透しているSDGsですが、実践している方は少なく、自分事として捉えているとは言えない現状があると



感じていました。本研修会を通じてSDGsの本質や基礎を学び、課題は自分の身の回りにある事を知りました。今後は小さな事であってもこの運動に寄与していきたいと感じました。

第一講、第二講ともに多くの気付けや学びが有り、有意義な時間を過ごす事が出来ました。慣れないであろうオンラインという環境の中、ご講義を頂いた先生方に感謝を申し上げると共に、本研修で得た知見を今後の社務に活かして参ります。

稲作体験事業稲刈り

企画部 部長 目黒久仁彦



厳しい夏の暑さも収まり、心地よいそよ風がたわわに実った稲穂を揺らす十月。神奈川県神社道青年会御神田では田植えから四ヶ月の時を経て稲刈りの日を迎えました。六月の田植えの際には新型コロナウイルス感染症の影響もあり、会員のみの神事と作業を実施致しましたが、全国的に感染者数も落ち着きを見せ、自粛を求められた様々な活動も徐々に再開されていることもあ

誠実と真心で奉仕する

御守・授与品・参拝記念品奉製

天然石厄除開運腕輪守・天然石みくじ

御一報次第カタログ御送り致します。

グリーン産商株式会社

〒547-0033 大阪市平野区平野西4丁目8番29号
TEL (06) 6702-6009 (代表) FAX 0120-34-2996KOWA
KOWA DISPLAY CO.,LTD.大切なイメージをカタチにします。
オリジナル授与品・記念品

株式会社 晃和ディスプレイ

東京都目黒区目黒本町3-13-10 〒152-0002
TEL: 03-3792-0211 FAX: 03-3792-0925
ホームページ <http://www.kowa-dsp.co.jp/>



達も稲刈り作業を通じてすぐに打ち解けたようで、黄金色の御神田に笑い声がこだまし、その様子にどこか懐かしさを覚えた事が印象的でした。

この稲作事業は青少年の教化育成も大きな目的としています。コロナ禍を乗り越え、子供達に、神事を通して我が国に伝わる米作りの伝統と大切さを伝えられるよう、本事業を継続して参ります。



り、人数を絞りながらも三年ぶりに一般参加者を募り実施致しました。当日は当会会員、一般参加者あわせて十九名が参加し、抜穂祭の後に稲刈りを致しました。参加した子供



十月二十七日神道青年全国協議会主催による沖縄本土復帰五十周年記念事業「沖縄戦全戦没者慰霊祭」が沖縄県護国神社にて斎行されました。

神道青年全国協議会は、昭和三十三年より沖縄本土復帰運動に取り組んでおり、返還の年には波照間に復帰記念の碑や、昭和六十年には昭和天皇御在位六十年を記念して聖寿奉祝の碑を建立し、周年を迎えるごとに奉告祭や慰霊祭を斎行するなど様々な活動を行ってまいりました。そして、令和四年は沖縄本土復帰五十周年の節目にあたり、当初は五月に慰霊祭を斎行予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の為に十月に延期しての斎行となりました。

当日は、天

神道青年全国協議会主催 沖縄本土復帰五十周年記念事業 沖縄戦全戦没者慰霊祭

親睦部 部長 増田源弘

候にも恵まれ、昼過ぎより習礼を行い、列立位置や式次第の確認をしました。その後、各自着装を始め、十五時に祭典を斎行しました。斎主は沖縄県護国神社加治宮司にお務め頂き、各単位より祭員、伶人など計五十四名の青年会員で奉仕させて頂きました。また、ご来賓として沖縄県神社庁新垣副庁長を始め、六十六名の方々にご参列頂きました。

約一時間三〇分の祭典を終え、加治宮司、神青協小林会長よりご挨拶の後、集合写真を撮り、事業は滞りなく執り修めました。

加治宮司、小林会長の最後の挨拶では、新型コロナウイルス感染症の影響により延期になってしまった本慰霊祭が無事に修められことに安堵されておられ、全国より集まった青年会員へ感謝の言葉を述べられました。

沖縄が本土に復帰したとはいえ、様々な問題が残っております。我々青年会員が出来た事を模索し、まずは、沖縄本土復帰五十周年の節目に本土復帰への感謝の祈りを捧げ、この想いを今後も紡ぎ繋げてまいります。

神青協一都七県協議会 (神青協神宮啓発委員会共催) 「伊勢の神宮写真展」

副会長 小泉匡史

令和四年十一月七日から九日の期間、東京都中央区にあります三重テラスにて「伊勢の神宮写真展(伊勢の神宮を、都内で感じる)」を神青協一都七県協議会と神道青年全国協議会神宮

授与品全般・神具



創業安政貳年

株式会社秋江

御守袋・錦守・木札・紙札・絵馬・土鈴
朱印帳・根付・神具・御装束・記念品

〒602-0056

京都市上京区堀川通上立売下ル北舟橋町835

TEL 075(432)2255(代) FAX 075(441)8011

<http://www.akie-net.com>

創業百有余年

— 伝統の技術を活かした授与品作り —
神奈川県神社庁をはじめ
全国各神社でご利用頂いております。

神符・守札・木札・金欄御守・御朱印帳
交通安全守・彫り木守・守護矢・ステッカー
シール型守・縁起物・その他各種授与品

株式会社

丸井紙店

TEL 055-272-0136 FAX 055-272-3966

〒409-3601 山梨県西八代郡市川三郷町市川大門763 <https://juyohin.co.jp>

火鑽具体験・神宮勉強会を行い、また、伊勢市商工会議所のお力添えにより、伊勢市の名産品を提供していただき、来場者へ先着順で無料配布を行い、ご来場された方々により興味を持ってもらえる工夫もありました。



啓発委員会とで共同開催しました。実行委員長として神奈川県神道青年会の守屋会長が指揮を執り、準備期間が短く、中にも関わらず質の高い写真展を行う事ができました。写真展の開催に合わせ、雅楽演奏会・関東伊勢参り勉強会・装束展示・

令和四年十一月十八日、伊勢山皇大神宮参集殿にて「臨時総会」を開催致しました。議長には小峰敏風総務局長が指名され、出席二十七名・委任状七十八名の出席報告を受け、総会の成立を宣言致しました。まず初めに会則の改正に関する件が

臨時総会
事務局 局員 平賀允教

考えたときにその環境が身近にあるものなのか、学びたいという機会を活かす事が神職としてできているのかと改めて考えさせていただける大変貴重な経験となりました。



の方が伊勢神宮に興味を持ち学びたいという事への証明になったかと存じます。

来場者へのアンケートでは、開催した事への感謝の気持ちが大半を占めており、さらには定期的に開催してほしいという意見もございました。

喜んでいただけた方が多くいた事を嬉しく思う一方、一般の方が学びたいと

末筆になりましたが、この臨時総会にあたり会場をお貸し下さり正式参拝をご奉仕頂きました伊勢山皇大神宮様、ご来賓としてご挨拶を賜りました、阿久津裕司宮司様におかれましては、ご多忙の中にも関わりませず当会の為にお時間を割いて頂きました事に厚く御礼申し上げます。

の説明の後、盛大な拍手を以て承認されました。志村新会長からは、「この数年新型コロナウイルスの影響により活動自粛を余儀なくされていたが、終息の兆しが見え始めた今、改めて会員一同が心を一つにして青年会活動に邁進していく」という強い決意が表明されました。



審議されました。組織調整委員会の川辺浩司委員長より、事業部の廃止、IT事業推進部の広報部への統合、条文の明朗化を含む会則の改正案が提示され議決されました。

次に、次期会長選出に関する件が審議され、守屋隆広会長より志村幸弥副会長(川崎市・琴平神社禰宜)を推薦する旨

無公害性防火難燃剤・ファイヤーレターデント防燃水
TEL:048-949-6888

●JIS9001品質管理会社
木造建築のエキスパート塗装業集団
による安心・信頼の施工

前工程
●エアースプレー塗装
※長年堆積した塵や埃を特製チップで除去

後工程
●ファイヤーレターデント防燃施工
※既存する最も信頼ある防燃剤塗布
※塵と埃除去後、薬剤が1.5~2倍浸透
塗料職人が足場組立から全ての清掃まで一貫作業/防燃剤は工務規定量(10㎡/ℓ)塗布

【薬剤効果】防火難燃性能/防腐効果/防蟻効果

●多くの神社仏閣・公共施設に採用!
●1,300℃でも引火しない!
●無色透明人体・建物に無害!

販売元:コクト環境株式会社
施工元:江口工業株式会社
影の園建設事業協同組合

□協力:川越水川神社

祈りのかたちに
京の伝統と真心を込めて

御社寺ならでしの御守をオーダーメイドで奉製いたします
色・柄・形などお気軽に御相談ください

御守

京都泰製株式会社

京都本社 / 東京営業所 / 仙台営業所 / 福岡営業所
☎ 0120-164124 (イロイニシキ)
ホームページ: <http://www.qmameri.co.jp>

新 年 会

親睦部 副部長 早川道子

年明けの余韻が続く節分直前の日曜の夜、桜木町において新年会が行われました。参加者は三十一名、カジュアルな店内でウエルカムドリンクを片手に、歓談をしながら宴のはじまりを待ちました。

今期で会長が代替わりすることもあり、次期会長に内定している志村幸弥さんに、皆エールを送るようにかわいがわる声をかけていました。初々しい志村幸弥さんと貫禄ある守屋隆広さんの姿が印象的でした。忘年会の服装はスーツ、新年会は普段着というように、開催日こそ近いですが、新年会はリラックスした雰囲気の中行われるので、各お社のお正月の様子や雑感、困りごとから笑い話まで、様々な内容が活発に飛び交いました。いつ終わるかわからないコロナ禍の中でも一同に会することができたのは、とても嬉しいことでした。今年も新年早々最大の山場を乗り越えて、互いの労をねぎらうことができました。

日々刻々と変化する社会情勢に悩みの種はつきませんが、世界の共存共栄を願う我々神職にも、多くの福が舞い込みますようにと祈りながら会場を後にしました。

広報研修会「社頭で活かすデザインと撮影講座」

会員 稲岡智文

令和五年二月二十二日、鶴岡八幡宮直会殿に於いて、広報研修会「社頭で



活かすデザインと撮影講座」が開催されました。

本研修会では第一講に箱根写真美術館の館長である遠藤桂先生をお招きし、カメラ・スマートフォンを用いたの撮影講座と、撮影写真の講評を行っていただきました。第二講では株式会社エレファントストーンのディレクターである大金紗由美先生をお招きし、デザインの基本からパワーポイントを活用した構図への応用まで、ご講義を賜りました。

総勢で三十二名、県内各社より参加がありました。第一講では、近年のデジタルコミュニケーションに、写真が置かれている環境が変化しつつあることを念頭に、写真の特徴の出し方や、画像素材としての写真の収集、ポートレート・物撮りの際の撮影技術のノウハウについてご講義いただきました。普段なんとなく撮っている写真でも、構図やフォーカスの技法次第で全く違った印象の写



真になることを知りました。

第二講では、デザインとは何かという問いを、社頭での教化活動に准え、意図した対象者に伝えたい情報を発信するための5W1H（いつ・どこで・だれが・なにを・なぜ・どのように）の整理であるという事をご教示いただきました。ターゲットインクからコンセプトの決定、レイアウトの構成など実践的な事から、Pinterestの活用、ネット印刷の基本、参考図書を紹介など、即戦力となるご講義を賜りました。

本研修の主題である「デザイン」と「撮影」は、個の技術とセンスに依存する所が大きく、手が出づらく、外注に頼りがちなことが多い分野ではありますが、基礎的な技術を習得しておくことで、時間的にも金銭的にもコスト減が見込める上、外注する場合でも担当者間のやり取りを精度の高いものにできると思います。多くの人々に神社を好きになって貰えるよう、より質の良い情報を発信することは、今の時代神社に奉仕する我々に必須の技術と言えるのではないのでしょうか。

教養研修 小筆講座

教養部 部長 土屋慶之

令和五年二月二十八日午後一時より、教養研修「小筆講座」を神奈川県

繊細な技術と日本の伝統を今に継ぐ
授與品の奉製

古都 奈良の

株式会社 大和奉神堂

〒630-8434 奈良市山町782番地

TEL 0742-62-3235(代)

FAX 0742-62-3228

E-mail : hoshindo782@yahoo.co.jp

HomePage : <http://www.yamato-hoshindo.net/>



授与品専門奉製所

常陸神宝(株)

〒310-0902 茨城県取手市渡邊町835-1

☎ 029-227-0511

FAX 029-227-0512

講義ではまず、道具（文房四宝）の使い方と概要をご説明頂きました。文房四宝とは、筆・硯・紙・墨のことです。特に筆の持ち方や腕の構え方、使用前後の取り扱い及び保管方法まで、詳しくご説明頂きました。

また、基本となる画数と文字の大きさ、永字八法、楷書と行書の違い等をお話し頂き、さらに資料をもとに「神社で良く使用する文字」を具体的に説明頂きました。

その後、受講者が事前に書いた奉務神社の御朱印を、一人ずつ丁寧に直し、書き点を明確に添削して頂きました。今後の自身の成長に繋げる為、ご



神社庁において開催しました。本研修は、神職にとって必要な素養のひとつである書道の中でも、小筆を用いた御朱印・御札書きの技術向上と、書道道具の正しい使い方を学ぶことを目的に開催したものです。

講師には書家の重光倩瑟先生をお招きしました。重光先生は、ご自身で書道教室「美祥会」を主宰し、現在は毎日書道会会員、創玄書道会二科審査員、書道日本社の理事をお務めになられ、今後の書壇を担う存在として注目を集めているお方です。

指導頂いた内容を繰り返し稽古する、実践的な研修となりました。

神青協全国協議会中央研修会

事業部 部長 立岩秀夫



令和五年三月八日から九日にかけて、神道青年全国協議会主催による中央研修会が、徳島グラウンヴィリオホテルを会場として開催され、当会より守屋会長以下九名の会員が参加致しました。

新型コロナウイルス感染症の影響により、令和元年度・二年度は中止、三年度はオンラインでの参加（まん延防止等重点措置対象地域であったため）でありました。本年、参加者には事前に関東地区担当単位会より抗原検査キットが送付され、参加にあたっての検査、検温が実施されるなど感染症対策を十分に実施した中での開催となりました。

「想い」を繋ぐ、受け継がれしものを次の世代へを主題とし、四名の講師の方々より貴重な講演をいただきました。

映画監督であり、高知を盛り上げるために様々な活動をされている安藤桃子先生より「全てのいのちに優しい世界」。(株)和えるの代表取締役であり、日本の伝統産業を次世代につなげるために、様々な事業に尽力されている矢島里佳先生より、「伝統は「守るべき

もの」なのか。阿波おどり振興協会理事長兼、天水連連長として阿波おどりを後世に伝えるべく尽力されている山田実先生より、「次世代に繋ぐ」。武闘家であり、元K-1ファイターのニコラス・ベタス先生からは自身の半生を通して学んだ「折れない心」と、多様な講義をいただきました。

「想いを繋ぐ」とは如何なる事なのか。我々が今まで築いてきた文化や伝統の全てを繋ぐことだけで「想い」は繋ぐことができるのだろうか。それだけではなくそこに我々の想いを込めて伝えていくことが何より大事なことでないだろうか。単なる書面、データのみで伝えるのではなく、我々自身で「想い」を込めながら後世に伝えていく必要があるのではないだろうか。主観が難題なため、様々なことを考えながら講師先生方の講演を真摯に受け止めた研修会でした。

神青協一都七県研修旅行会

広報部 副部長 佐野若菜

徳島県で開催された神青協中央研修会の後、三月九・十日に当会会員六名で神青協一都七県協議会研修旅行に参加しました。

先ず大麻比古神社に正式参拝をさせて頂きました。長く続く参道の先に荘厳な社殿が建ち、「弥山（みせん）さん」と崇拝される大麻山の頂上には奥宮峯神社が祀られ、境内には第一次世界大戦下のドイツ兵との交流の証が随所に残されていました。

次に淡路島の北淡震災記念公園と野島断層保存館を訪れました。一四〇

代表取締役
可児 錠二

トモ工陶業株式会社
株式会社 可児商店

愛知県瀬戸市北瀬町三丁目36番地 〒489-0915
Tel.0561-83-3674 (代) O fax.0561-82-4261
E-mail:kani-co@mtf.biglobe.ne.jp
http://www.tomoetogyo.jp

宮内庁 神社本庁・神奈川県神社庁・各県神社庁
全国神社・小笠原流弓馬術礼法教場

御用達

株式会社 大槻装束店

代表取締役 大槻 奈津子

〒113-0034 東京都文京区湯島 3-13-2
http://www.ootsuki-shozokuten.com
E-mail:info@ootsuki-shozokuten.com
千代田線・湯島駅徒歩4分／銀座線・末広町駅徒歩6分
電話：03-3835-3201 FAX：03-3835-0617



メートルもの地震断層がありのまゝの状態である。五〇センチメートルにも及ぶ地面の隆起と一メートル近い横ずれを目の当たりにし、日頃からの災害に対する備えが大切であると痛感しました。

世界最大級のつり橋、明石海峡大橋を渡り、兵庫県神戸市に向かいます。兵庫県神道青年会の方をお招きし、南京町にて懇親会を行いました。お酒と食べ物、整った街並みや夜景、様々な神戸の夜を楽しみました。

二日目は、西宮神社、廣田神社、弓弦羽神社を巡拝しました。どのお社も広く美しく整備され、大変清々しくお参りさせて頂きました。

お正月、えびす様をお迎える為に、身体に刺さって痛くないようにと門松の松を逆さに挿す独特の風習を伺い、信仰の形も土地により様々だと感じしました。

各社にお参りさせて頂き、参拝者が気持ち良くお参りできる工夫が随所に施されている様子が大変素晴らしい、自分ももつと何かできるのではと考えさせられました。

最後は神戸牛で舌鼓を打ち、旅の終わりとなりました。

一七協の同志と共に学び懇親を深めた、大変実りの多い充実した研修旅行となりました。

顧問会並びに慰労送別会

親睦部 部長 増田源弘

三月二十三日顧問会並びに慰労送別会を東天紅横浜ワシントンホテル店にて開催致しました。

顧問会では各部より今年度の事業報告を行い、その後、同会場にて今年度の青年会活動への慰労と退会される方々への慰労送別会を開催致しました。新型コロナウイルス感染症の影響により令和元年度以降慰労送別会を開催出来ていなかった為、本年はその期間に退会された先輩方もご招待致しました。会員二十四名、退会者十二名、顧問七名の計四十一名が参加致しました。

退会者の方々は入会した時の思い出など様々なお話を花を咲かせ、最後には一言ずつご挨拶を頂きましたが、それぞれに青年会への熱い思いをお話し頂きました。

様々な形でお世話になった先輩方の退会は大変寂しさを感じますが、今後とも神職として互いに研鑽し、青年会の歩みを温かい目で見守って頂ければ幸いです。

退会された皆様の益々のご活躍を心からご祈念申し上げます。



内宮に一番近い宿

早朝参拝のご案内をしております



一ご宿泊に関するお問い合わせー

〒516-0025 伊勢市宇治中之切町152
TEL.0596-22-0001/FAX.0596-22-1517

Instagram好評配信中!



この国の佳き伝統とともに

株式会社 宮本卯之助商店

創業 文久元年 太鼓・神輿・祭礼具 製造販売

〒111-0035 東京都台東区西浅草2-1-1
tel. 03-3844-2141 fax. 03-3842-6730

www.miyamoto-unosuke.co.jp

奉じる心を大切に 全国社寺 授与品 総合奉産 調度品

京都・吉祥院
東和奉産株式会社

代表取締役 松尾正貴

本社・工場 〒601-8348 京都市南区吉祥院観音堂町七



電話代表 (075) 691-3000
FAX (075) 691-3300
E-mail info@towahosan.jp

各種御守・授与品全般・デザイン制作承ります。

にしき
有限会社 西紀

TEL: 072-810-8133

FAX: 0120-71-8135

FAX 24 時間受付

〒576-0034 大阪府交野市天野が原町4-1-7
メール: mytom@chive.ocn.ne.jp

令和4年度後期活動報告

10月

- 7 オンライン研修会第1講
「暦・易学について」
- 11 第6回拡大役員会「一七協第29回総会」
実行委員会（第5回）（稲毛神社）
- 12 オンライン研修会第2講
「SDGsについて」
- 15 青少年育成事業「稲作体験」稲刈り
（神奈川県神道青年会御神田）
- 20 創立70周年記念事業
「会報 神奈川 創立七〇周年記念号」発行
- 21 一七協 第3回定例会議（東京都神社庁）
- 25 会報「神奈川」第74号発行
- 27 神青協 沖縄本土復帰50周年記念事業
沖縄戦全戦歿者慰霊祭（沖縄県護国神社）

11月

- 1 神青協 第16回神宮啓発委員会
（Zoom）
- 7～9 神青協・一七協 伊勢の神宮写真展
（三重テラス）
- 10 第36回北方領土返還要求運動神奈川県
民大会（横浜情報文化センター）
- 14 第7回拡大役員会「一七協第29回総会」
実行委員会（第6回）
献米発送作業（稲毛神社）
- 17 神青協 臨時総会（神社本庁・Zoom）
- 18 臨時総会・忘年会・賛助会員交歓会
（伊勢山皇大神宮 伊勢山ヒルズ）
- 29 神社庁・神政連・県総連設立周年記念大
会助勢（横浜ロイヤルパークホテル）

12月

- 5 神政連 かながわ元気フォーラム
2022助勢（ローズホテル横浜）

- 5 一七協 第4回定例会議、研修会
（明治神宮社務所講堂）
- 9 役員会「一七協第29回総会」実行委員
会（第7回）（日枝大神社）

1月

- 25 神青協 第17回神宮啓発委員会
（Zoom）
- 29 新年会（イタリアンダイニング ザサウス）

2月

- 8 一七協 第5回定例会議、研修会
（神社本庁・南国酒家原宿本店）
- 12 神奈川懸神輿保存会 結成五十五周年記
念祝賀会（横浜ロイヤルパークホテル）
- 14 第8回拡大役員会「一七協第29回総会」
実行委員会（第8回）（稲毛神社）
- 21 栃木県青年神職むすび会創立60周年記
念大会（ホテル東日本宇都宮）
- 22 研修会「社頭で活かすデザインと撮影講
座」（鶴岡八幡宮）
- 27 SDGs 関連事業・献米寄付
- 28 小筆講座（神奈川県神社庁）

3月

- 8・9 神青協 中央研修会
（徳島グランヴィリオホテル）
- 9・10 一七協 研修旅行会
（徳島－淡路島－神戸）
- 23 顧問会・慰労送別会
（東天紅 横浜桜木町ワシントンホテル店）
- 26 第9回拡大役員会「一七協第29回総会」
実行委員会（第9回）（伊勢山皇大神宮）

◇結婚
箱根神社
権禰宜 伊藤政好
令和五年三月七日



箱根神社
権禰宜 土屋慶之
令和四年十一月十七日
第二子 次男 怜士



◇誕生
鶴岡八幡宮
権禰宜 宮本龍一
令和四年十一月四日
第二子 長男 伊織

慶弔報告

入会・退会会員

◇入会

江島神社 権禰宜 尾崎光太郎

神鳥前川神社 権禰宜 鈴木 博貴

六所神社 権禰宜 金子 輝

寒川神社 権禰宜 金居 命良

寒川神社 権禰宜 宮澤 卓巳

鶴岡八幡宮 権禰宜 高橋 良知

鶴岡八幡宮 権禰宜 金森 文孝

伊勢山皇大神宮 権禰宜 榊原 悠太

◇退会

前島神社 権禰宜 上原 範子

鈴鹿明神社 権禰宜 久保 嘉秀

鶴岡八幡宮 権禰宜 山口 和久

退任顧問・定年退会会員

◇退任顧問

稲毛神社 宮 司 市川 和裕

熊野神社 権禰宜 瀬尾 剛良

◇定年退会

天神社 宮 司 川辺 浩司

白旗神社 権禰宜 遠藤 雅人

富岡八幡宮 権禰宜 佐野 若菜

天神社 権禰宜 早川 道子

天神社 権禰宜 小玉 聡

伊勢山皇大神宮 権禰宜 利根 伸介

瀬戸神社 権禰宜 五十嵐千草

貴船神社 権 宜 平井 泰行

杉山神社 宮 司 佐野 顕次

編集後記

皆さまのおかげをもちまして完成した、「会報神奈川七十五号」をお届けさせて頂きます。

お忙しい中ご寄稿下さいました、佐野和史宮司様には心より厚く御礼申し上げます。

本年三月末を以って守屋会長期を終える事となりました。

思い返してみると、この二年間はコロナ対応にウイズコロナと、コロナ神社を創祀した方が良いのではなにかと思うぐらいコロナにお伺いを立ててばかりでした。

本執筆時点の三月初旬では日本人はまだマスクを取る事が出来ずにあります。

外を見渡せば、外国はマスクを外して、何ら不自由なく過ごしているそうです。

昨年の五月にはイギリスのエリザベス女王葬儀の際、陛下がご訪問されました。

諸外国は疾うにマスクの着用を解除していた為、天皇陛下の動向に注視していたそうです。

しかしそのマスクもご利益が切れたのか、新年度に入る前に何とかしたかったのか、いよいよ政府が重い腰を上げ、三月十三日より個人の判断に委ねるという実質解除の指示を出しました。

結果論ではありますが結局初めから過度にマスクに密に気にする必要はなかったのかもしれませんが。

これらの事は、自分の人生は自分で決めて生きた方が良いという模範になりました。

最後になりましたが、今期の退会者数は過去最大と聞き及んでおります。

現状のやり方のままでは会の継続は難しいのかもしれませんが、しかし何か大きな問題があった時はむしろ改革のチャンスだとある有識者は言っております。

会員一同力を合わせ、先輩達の想いを継ぐ、けれども、新しい会のモデルを確立して頂きたい。

次の志村会長期に期待を寄せ、会の益々のご繁栄を祈念申し上げます。

広報部 副部長

利根 伸介

営 業 品 目

縁起物入みくじ・金属製守・木札守・紙札守
金欄錦守・各種熊手・守護矢・朱印帳

おまもりの奉製

株式会社 阿 部

〒323-1104 栃木県栃木市藤岡町藤岡5203-1

TEL (0282) 62-1010 (代表)

FAX (0282) 62-2061



社殿造営・神棚神具製造

有限 依田屋

代表取締役 田中弘紀

〒516-0026
伊勢市宇治浦田二丁目〇ノ三八
電話 〇五九六 二三 三九〇五
FAX 〇五九六 二三 三九〇八

ゴルフ同好会



ゴルフ同好会では不定期ですがゴルフコンペを企画し、開催しております。コロナ禍の中でなかなか大会を開催することが出来ませんでしたが昨年十月にゴルフコンペを企画し、活動をようやく再開することが出来ました。今後は今年の六月二十三日に予定されている神青協一都七県協議会芝球会の開催に向けて準備を進めてまいります。初心者の方にも楽しんでいただけるようゴルフ練習場での練習を企画し、会員同志の親睦を深める一助となるよう活動して参ります。

【事務局】 日枝神社 山本喜道

〇四四―四二―三三七―

フットサル同好会



新型コロナウイルスのパンデミックにより活動自粛を余儀なくされていたフットサル同好会が活動再開致します。

当会は月に一〜二回横浜市近辺の体育館・フットサル場を中心に活動しております。小泉匡史選手兼監督による本格的な戦術的練習から未経験者に合わせた基礎練習、運動不足の方に合わせたフットネス感覚のボールを使わないトレーニングやお子様方も一緒に楽しめるようなバラエティ豊かなトレーニングメニューをご用意しておりますので、是非ご家族での参加もお待ちしております。

又、当会は毎年秋に開催される一都七県親睦フットサル大会優勝を目標に

野球同好会



掲げて活動しております。フットサルを通じて神奈川県内だけでなく、他県との交流も行っているのです、運動を通して多くの仲間たちとの親睦を深める事が出来る環境となっております。気軽にご参加ください。

(平賀允教)

【事務局】 八幡大神 小泉匡史

〇四四―五一―六〇一―〇

私たち野球同好会は横浜近辺の野球場にて月二回ほど練習を行っております。

毎年秋に開かれる一都七県神職野球大会に向けての練習がメインですが、会員の中には野球未経験者も多く、気軽に楽しく野球を通じて親睦を深める事も目的としています。

練習は真剣に行う反面、掛け声が絶えず楽しみながら体を動かし、分からない事があれば先輩方が親身になって教えてくださり、和気藹々な雰囲気の中行っています。

また、今年の一都七県神職野球大会は我々神奈川県が主管となり、大会の運営をしっかり行いつつ、主管神奈川県、優勝神奈川県！を目指し、今年の大会へ向け会員の親睦を深めながら活動を行って参ります。

当同好会は会員を随時募集しております。少しでも興味のある方、運動不足で体を動かしたい方も大歓迎なので、お気軽にご連絡下さい。皆様のご参加、心よりお待ちしております。

(日下部成信)

【事務局】 神明社 榎宜 石原誠人

(神道青年会顧問)

〇四五 (三四一) 六三六五